

平成26年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

平成25年7月30日

上場会社名 サトレストランシステムズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8163 URL http://www.sato-restaurant-systems.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役兼執行役員社長 (氏名)重里 欣孝

問合せ先責任者(役職名)取締役兼執行役員 (氏名)永井 正信 TEL 06-7222-3101

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上?	高	営業利	益	経常和	J益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,438	7.4	55	_	63	_	45	_
25年3月期第1四半期	5,995	0.1	△38	_	△68	_	△54	_

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 72百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △94百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.63	_
25年3月期第1四半期	△2.16	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	19,064	9,135	47.2	318.93
25年3月期	19,390	9,121	46.3	318.37

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 8,996百万円 25年3月期 8,980百万円

2. 配当の状況

2. 86 3 07 17.70	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
25年3月期	_	0.00	_	2.00	2.00	
26年3月期	_					
26年3月期(予想)		0.00	_	2.00	2.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日~平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	刊益	経常和	刊益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	13,100	3.0	280	△15.4	240	△10.2	150	5.6	5.32
通期	26,500	2.8	550	△16.1	470	△16.4	270	△15.8	9.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	28,209,080 株	25年3月期	28,209,080 株
26年3月期1Q	90 株	25年3月期	90 株
26年3月期1Q	28,208,990 株	25年3月期1Q	25,122,690 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は 様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による「アベノミクス」が注目を浴び、円安、株価上昇による個人消費や企業収益の回復の傾向が一部見られました。一方、新興国の景気減速、円安による原材料価格や電気料金の上昇、消費税増税への動きなどから、消費者の防衛意識による低価格志向や消費の選別等により、経営環境としては先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「最も顧客に信頼されるレストランの実現」に向けて、諸施策を積極的 に推進するとともに、コストの見直しを継続し、収益力の強化に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、和食ファストカジュアル業態である「天井・天ぷら本舗 さん天」の2号店を6月にオープンし、当第1四半期連結会計期間末の合計店舗数は217店舗となりました。その内訳は、「和食さと」業態196店舗、「すし半」業態13店舗、「さん天」業態2店舗、「かつや」業態6店舗であります。「和食さと」業態では、19店舗の改装を行い、海外事業では、台湾に続き、インドネシア国内での日本食レストランの事業拡大を目的とした「PT. INDO SATO JAYA MAKMUR」(当社出資比率19%)の設立手続が6月に完了しております。

営業施策につきましては、「和食さと」業態の核商品である「さとしゃぶ」について、TV番組とのタイアップ企画により認知度の向上を図り、また「さとしゃぶ」プレミアムコースのうまいもの味めぐり商品(「秋田編」・「鹿児島編」)を実施するなど魅力ある商品を提供すべくバリューアップを継続して進めております。加えて、お客様をお待たせしない店舗オペレーションを目指し、タブレット端末を利用したオーダーエントリーシステムの開発を開始しております。「すし半」業態におきましては、「カツオ」・「ホタルイカ」・「鱧」・「うなぎ」等の旬の素材を使用した季節感あふれるフェアーを実施し好評を頂きました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高64億38百万円(前年同四半期比7.4%増)、営業利益55百万円(前年同四半期は38百万円の営業損失)、経常利益63百万円(前年同四半期は68百万円の経常損失)、四半期純利益45百万円(前年同四半期は54百万円の四半期純損失)となりました。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントの業績に関する記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、190億64百万円(前連結会計年度末比3億25百万円の減少)となりました。

流動資産は、63億71百万円(前連結会計年度末比3億43百万円の減少)となりました。これは主に、現金及び預金の減少3億53百万円によるものであります。

固定資産は、126億85百万円(前連結会計年度末比18百万円の増加)となりました。これは主に、投資有価証券の増加64百万円などであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、54億10百万円(前連結会計年度末比2億16百万円の増加)となりました。これは主に、未払金の増加3億8百万円、短期借入金の増加3億円、買掛金の減少1億18百万円、未払法人税等の減少1億37百万円、賞与引当金の減少1億84百万円などであります。

固定負債は、45億19百万円(前連結会計年度末比5億55百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の減少4億78百万円などであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、91億35百万円(前連結会計年度末比14百万円の増加)となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月13日の決算短信に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、5月31日に発表しました株式会社フーズネットの株式取得につきましては、7月1日をもちまして、株式の取得を完了しております。これによる当社の連結業績に与える影響については、現在精査中であり、平成26年3月期第2四半期決算短信発表時を目途に、詳細について開示させて頂く予定です。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
 - (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
 - (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
 - (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。
- 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(1) 四十朔廷相其旧州宗衣		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 474, 408	5, 121, 110
売掛金	246, 993	238, 874
商品	34, 775	35, 341
原材料及び貯蔵品	524, 899	422, 102
繰延税金資産	201, 527	249, 212
その他	231, 856	304, 697
流動資産合計	6, 714, 460	6, 371, 338
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1, 739, 683	1, 700, 565
土地	4, 760, 975	4, 760, 975
その他(純額)	1, 176, 121	1, 165, 462
有形固定資産合計	7, 676, 780	7, 627, 003
無形固定資産	416, 863	425, 848
投資その他の資産	, and the second se	·
投資有価証券	637, 998	702, 999
長期貸付金	486, 557	488, 503
差入保証金	2, 774, 186	2, 741, 254
繰延税金資産	390, 732	378, 098
その他	284, 055	321, 970
投資その他の資産合計	4, 573, 530	4, 632, 819
固定資産合計	12, 667, 175	12, 685, 67
繰延資産	8, 467	7, 818
資産合計	19, 390, 103	19, 064, 828

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	754, 016	635, 529
短期借入金	_	300,000
1年内償還予定の社債	100, 000	100, 000
1年内返済予定の長期借入金	2, 159, 329	2, 056, 829
未払金	1, 159, 374	1, 467, 837
未払法人税等	199, 607	62, 139
賞与引当金	311, 644	127, 550
店舗閉鎖損失引当金	50, 000	50,000
その他	460, 049	610, 461
流動負債合計	5, 194, 021	5, 410, 346
固定負債		
社債	250, 000	200, 000
長期借入金	3, 413, 214	2, 934, 329
再評価に係る繰延税金負債	319, 828	319, 828
役員退職慰労引当金	31, 403	31, 403
資産除去債務	264, 784	266, 475
その他	795, 607	767, 075
固定負債合計	5, 074, 837	4, 519, 112
負債合計	10, 268, 859	9, 929, 459
純資産の部		
株主資本		
資本金	6, 361, 756	6, 361, 756
資本剰余金	2, 810, 575	2, 810, 575
利益剰余金	321, 794	309, 353
自己株式	△63	△63
株主資本合計	9, 494, 062	9, 481, 621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131, 798	160, 013
土地再評価差額金	△644, 981	△644, 981
その他の包括利益累計額合計	△513, 182	△484, 968
少数株主持分	140, 364	138, 716
純資産合計	9, 121, 244	9, 135, 369
負債純資産合計	19, 390, 103	19, 064, 828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円) 前第1四半期連結累計期間 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 (自 平成25年4月1日 平成24年6月30日) 平成25年6月30日) 至 至 売上高 5, 995, 728 6, 438, 922 1,867,900 売上原価 2,011,481 売上総利益 4, 127, 827 4, 427, 440 販売費及び一般管理費 4, 166, 272 4, 371, 501 営業利益又は営業損失(△) △38, 444 55, 939 営業外収益 2,570 受取利息 2,676 受取配当金 4,779 5, 306 受取家賃 20, 112 21,034 為替差益 15, 293 雑収入 9,022 12,912 57, 118 営業外収益合計 36, 590 営業外費用 36, 266 30,081 支払利息 不動産賃貸費用 15,672 15, 498 雑損失 14, 245 4,304 営業外費用合計 66, 184 49,884 経常利益又は経常損失(△) $\triangle 68,038$ 63, 173 特別損失 5, 335 6,987 固定資産除却損 投資有価証券評価損 6, 203 特別損失合計 6,987 11,538 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 △75,026 51,634 純損失 (△) 法人税、住民税及び事業税 32, 572 44,036 △36, 614 法人税等調整額 $\triangle 53,454$ 法人税等合計 $\triangle 20,882$ 7,422 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 $\triangle 54, 144$ 44, 211 調整前四半期純損失 (△) 少数株主利益又は少数株主損失 (△) 10 △1,648 四半期純利益又は四半期純損失 (△) △54, 154 45,860

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

(N) I II / MAZIMI NI II / MINI		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△54, 144	44, 211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40, 490	28, 214
その他の包括利益合計	△40, 490	28, 214
四半期包括利益	△94, 635	72, 426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△94, 645	74, 074
少数株主に係る四半期包括利益	10	$\triangle 1,648$

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収及び多額な資金の借入)

当社は平成25年5月31日開催の取締役会において、株式会社フーズネットの全株式を取得し、完全子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、平成25年7月1日にて取得手続を完了しました。

(1) 株式取得の目的

当社は、創業以来、和食中心のレストランチェーンとして外食産業の一翼を担い、「最も顧客に信頼されるレストランの実現」に向けて、既存事業の諸施策を積極的に推進するとともに、生産性の向上に努め、成長・発展を続けてまいりました。

株式会社フーズネットは、当社の基盤である関西地区を中心に直営による回転寿司チェーン「にぎり長次郎」の経営ならびに、フランチャイズによる宅配寿司チェーン「都人」の経営を行っております。

当社においては、関西地区で旬の素材を活かした鍋物・寿司主体の和食レストラン「すし半」を経営しており、一部の店舗では宅配寿司も運営しています。

このような状況の下、株式会社フーズネットの完全子会社化により、ボリュームメリットを活かした購買力向上や物流コスト削減により両事業の収益力向上を図ることが可能と判断し株式を取得しました。

(2) 株式取得の相手先の名称

コーポレート・バリューアップ・ファンド投資事業有限責任組合

- (3) 買収する会社の名称、事業内容、規模
 - ①名称 フーズネット株式会社
 - ②主な事業内容 回転寿司チェーンの経営及びフランチャイズによる宅配寿司チェーンの経営
 - ③規模(平成25年5月期) 資本金1,813,500千円

売上高 8,961,652千円

(4) 株式取得の時期

平成25年7月1日

- (5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率
 - ①取得株式数 36,270株
 - ②取得価額 3,003,770千円
 - ③取得後の持分比率 100.0%
- (6) 取得資金の調達

金融機関からの借入金及び自己資金

なお、借入金の主な内容は以下のとおりであります。

借入先株式会社三菱東京UFJ銀行

借入日平成25年7月1日借入金額2,500,000千円利率市場金利に連動返済期限平成25年8月30日

返済期限到来をもってシンジケートローン契約へ借換を行う予定であります。

担保提供資産 無し